

わかりやすく、楽しく伝える沖縄県広報誌

沖縄県

美ら島 沖縄

ちゅらしまおきなわ

2024

6

vol.585

無料

読者
プレゼント

抽選で計10名様に!

詳細はP15をCHECK

特集
いよいよ開催! デフバレーボール世界選手権2024 沖縄豊見城大会



男女共同参画の実現に向けた施策

家庭

- 男女がともに家庭生活に参画するための意識改革
- 育児および介護を支える環境づくり
- 生涯を通じた男女の健康づくりの推進



地域

- 地域活動を推進するための連携・協働
- 生活上の困難を抱える人々が安心して暮らせる環境の整備
- 市町村における男女共同参画の推進と支援

職場

- 多様な就業を可能にする環境の整備
- 雇用の分野における男女の均等な機会と待遇の確保
- 農林漁業における男女共同参画の推進
- ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
- 女性の活躍を推進するための企業に対する支援



社会全体

- 女性のさらなる政策・方針決定過程への参画の促進
- ジェンダー平等や性の多様性の尊重に関する意識啓発の推進
- 次世代に向けた意識啓発および教育の推進
- ジェンダーに基づくあらゆる暴力の根絶



このような格差の解消や意識の変革を図り、男女共同参画社会を実現するた

第6次沖縄県男女共同参画計画

また、新型コロナウイルス感染症の感
染拡大により、女性を取り巻く環境は、
非正規雇用労働者やひとり親など生活上
の困難に陥りやすい女性の増加など、就
業や生活面においてさまざまな形で深刻
な影響を受けています。

男女共同参画社会とは、性別にかかわり
なく一人一人が持っている個性や能力を十
分に発揮し、互いの人権を尊重しつつ、多
様な生き方を選択できる社会のことです。
県が2020年度に実施した県民意識
調査によると、社会全体における男女の
平等感の項目で、男女ともに約8割の人
が「男性優遇」であると感じていること
がわかりました。その背景には、「男性
は仕事をして、女性は家庭を守る」といっ
た固定的な役割分担意識が依然として存
在していることが考えられます。

男女共同参画社会って どこ存じですか?



第6次沖縄県男女共同参画計画
「DEI-GOプラン」

また、6月23日から29日までは「男女
共同参画週間」です。この機会に男女共
同参画について考えてみませんか。

男女共同参画の実現に向けた各種講座
や相談事業、女性のスキルアップやネッ
トワークづくりを応援する「ているる
塾」、ジェンダーに基づく暴力への対応
として性暴力被害者支援やDV防止対策
事業、孤独・孤立で不安を抱える女性を
支援する「つながりサポート支援事業」、
性の多様性の尊重に関する啓発事業や相
談事業などさまざまな取り組みを展開し
ています。

め、県では、「第6次沖縄県男女共同参
画計画「DEI-GOプラン」」を策定し
ました。
第6次計画は、2022年度からス
タートし、家庭・職場・地域・社会全体
の4つの分野における男女共同参画の実
現を目標に掲げ、それぞれの分野におい
て各種事業に取り組んでいます。

「おきなわSDGs
アクションプラン」とは
沖縄らしいSDGsを推進してい
くための基本理念や優先課題
(①~⑫)などに対応した具体的
なアクション、モニタリングの
指標などをまとめたものです。



←全文を
読めます



4月
11

貨物専用機の就航で
物流安定に期待

那覇空港で「ヤマトグループ貨物専用機の就航記念セレモニー」が行われ、玉城知事が出席しました。

ヤマトグループが機体を導入し、JALグループが運航を担う貨物専用機（フレイター）は、今年4月から、首都圏（羽田・成田）と沖縄（那覇）、北海道（新千歳）、九州（北九州）を発着地として運航が開始されました。

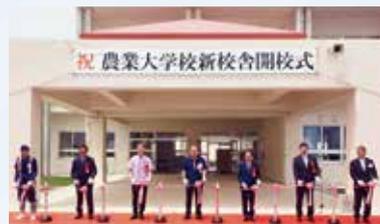
玉城知事は、貨物専用機の運航開始によって、新たな輸送手段としての活用と安定的な輸送力の確保などが図れることに謝意を表し、今後も県産品などの輸送などで強く連携していきたい意向を示しました。



4月
16

宜野座村で「県立農業大学校新校舎
開校式および入学式」を開催

県立農業大学校は、名護市から宜野座村へ移転し、今年4月に開校式及び入学式を開催しました。



同校は、約半世紀にわたり実践的な農業教育施設として1,600名以上の卒業生を輩出してきました。

新校舎は、学生寮や実習用ハウスなど全ての施設を新築し、牧草採草地や農業機械運転練習場などの付属施設を完備しています。

玉城知事は、新校舎の開校を祝うとともに、入学生が将来的に沖縄の農業を担うリーダーとして活躍されることに期待を示しました。

4月
24-25

玉城知事が石垣市を行政視察

玉城知事は、石垣市を訪れ行政視察を行いました。行政視察は、地域の状況を知事自ら把握し、現場に根ざした政策の推進に寄与することを目的として実施しています。石垣市長らとの意見交換をはじめ、市の要望に係る空港施設などの視察を行ったほか、空港関係者や畜産農家の皆さんと意見交換などを行いました。



4月
30

令和6年度 沖縄振興拡大会議

令和6年度沖縄振興拡大会議を開催しました。県内市町村長および議会議長ならびに県幹部が、沖縄県市町村自治会館にて一堂に会し、「大規模災害に対応した防災体制の強化」および「沖縄県企業局水道料金改定（値上げ）に関する対応」をテーマに、意見交換を行いました。

玉城知事は、防災体制の強化に向けて、今後も地域と県における取組の強化・連携を図り、また、安全・安心な水道水を安定的に供給できるよう努めていくと述べました。



6 2024 JUNE 美ら島 沖縄

vol.585
ちゆらしま おきなわ

- 02 沖縄県はSDGsを推進します！
第6次 沖縄県男女共同参画計画～DE I GOプラン～
- 03 県政フラッシュ
- 04 特集：いよいよ開催！デフバレーボール世界選手権
2024沖縄豊見城大会
- 06 沖縄産業クロニクル [食品編]
- 08 今こそ取り戻そう！健康長寿おきなわ！
毎日の食卓から減塩にチャレンジ
- 09 県の動き 1 予防が大切!! 気をつけよう熱中症
県の動き 2 6月18日は、「海外移住の日」
- 10 てくてく わがまちさんぽ [那覇市]
- 11 県の動き 3 県議選、大事な投票忘れずに!
- 12 情報ひろば
- 14 県の動き 4 6月は「土砂災害防災月間」です
- 15 読者プレゼント・広報課から6月のお知らせ・読者の声

沖縄の人口・世帯の動き
2024年4月1日現在

146万2,046人
総人口 ※前月比7,123人減少

64万3,411世帯
世帯数 ※前月比1,037世帯減少

沖縄県庁広報課
公式LINE
@okinawa-government



沖縄県庁広報課
公式X (旧Twitter)
@okinawa_pref



今月の表紙

「宮古島 八重干瀬」

撮影：小早川 渉

息を飲むほどの透明度の海に広がる、大きなサンゴ礁群。大潮の干潮時、陸地のように姿を表す様から「幻の大陸」とも呼ばれています。



本号の電子Book版とバックナンバーは
ホームページでご覧いただけます。

[美ら島沖縄の設置場所] 美ら島沖縄



県内コンビニ、モノレール各駅等で無料配布しています。また、公共機関や銀行、病院など多くの方々ご利用する施設でもご覧いただけます。新規設置施設も受け付けていますので、関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全世界向けの戸別配布は致しかねます。ご了承ください。



歯を見せて 笑える今を 未来にも

6月4日～10日は「歯と口の健康週間」です

イベント情報など
詳しくはこちら



いよいよ開催！

デフバレーボール世界選手権 2024 沖縄豊見城大会



デフバレーボール世界選手権2024 沖縄豊見城大会
が開催されます！

6月21日から30日までの間、豊見城市民体育館で聴覚障害者のバレーボールの世界大会である「デフバレーボール世界選手権2024 沖縄豊見城大会」が開催されます。

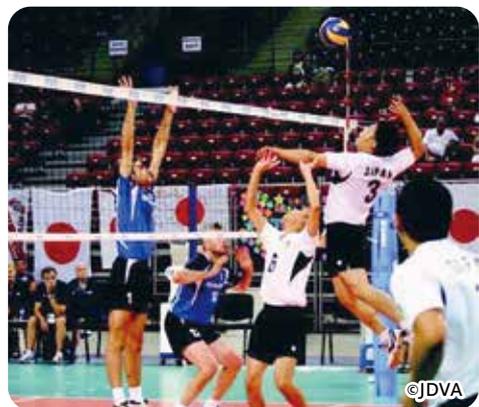
本大会は、世界各国との交流、聴覚障害者スポーツへの理解を深め、ともに支え合い、さまざまな人々の能力が発揮される活力のある共生社会の実現を目指すことを目的に、2008年に第1回大会がアルゼンチンで開催され、今回で第5回を迎えます。

イタリア、ウクライナ、アメリカ、日本の男女およびフランス、インドの男子の10チームの出場が決定しています。

デフバレーボールとは？

デフバレーボールとは、聴覚障害を表す英語の「Deaf（デフ）」と競技名の「Volleyball（バレーボール）」をあわせた言葉で、聴覚障害を持った方のバレーボール競技です。

ルールは、健聴者（耳が聞こえる人）が行う一般のバレーボールと同じですが、世界大会などでは、補聴器などを使用しない状態で、聴力損失が55デシベルを超えている者が参加することができません（一般的な会話の際の声の大きさは、約50デシベル、大きな声でも約60デシベルとされています）。選手の聴覚障害の程度による差をなくすため、コートに入る際



デフバレーボール試合の様子 ©JDVA

には全ての補聴器などを外すという決まりがあります。

そのため、選手同士の声によるプレーの連携や監督の指示の声も届きませんが、選手たちは声の代わりに、手話・読話・手話通訳・アイコンタクトを駆使して健聴者に負けない高度な戦術を展開します。

デフバレーボールと 沖縄のつながり

日本のデフバレーボールの創始者は、沖縄の教師であった宮里孝三氏と言われています。

昭和42（1967）年、宮里氏が指導する中学校に体育館がなかったことから、沖縄ろう学校の体育館を借りて練習を行いながら、ろう学校の生徒への指導を始め、昭和46（1971）年には、普通学校も参加する県大会



2024
OKINAWA
TOMIGUSUKU

■大会スケジュール

6月21日（金） ～26日（水）	男子予選
6月27日（木）	男子準決勝・ 順位決定ラウンド
6月28日（金）	女子準決勝・ 順位決定ラウンド
6月29日（土）	男女5～8位決定戦
6月30日（日）	男女決勝・3位決定戦



対戦表やタイムスケジュールは
世界選手権公式ホームページで
随時更新されます！



世界選手権
公式ホームページ



WDVC2024

World Deaf Volleyball Championships 2024 Okinawa Tomigusuku

歓声は、心に響く

世界から強豪国が 沖縄に結集!

デフバレーボール世界選手権

2024沖縄豊見城大会 2024.6.21 FRI - 30 SUN

会場:豊見城市民体育館/ 開会式:シャボン玉石けんくくる糸満 2024.6.20 PM

主催:ICSD(国際ろう新スポーツ委員会)
 共催:JDSF(全日本ろう新スポーツ委員会),JDVA(日本デフバレーボール協会)
 後援:沖縄県、豊見城市、糸満市、那覇市、沖縄県障がい者スポーツ協会、沖縄県スポーツ協会、沖縄県聴覚障害者協会、沖縄県身体障害者福祉協会
 協力:沖縄県バレーボール協会(豊見城市バレーボール協会・糸満市バレーボール協会)、日本財団ボランティアセンター、国際手話ボランティア団体(株)JBS沖縄

INTERNATIONAL COMMITTEE OF SPORTS FOR THE DEAF

2024



宮里孝三氏

を制し、全国大会にも出場するなど、選手の活躍は新聞にも掲載され大きく取り上げられました。

その後、ろう学校を卒業したOBチームは、昭和50(1975)年から昭和56(1981)年まで、全国ろうあ者バレーボール大会で7年連続優勝を果たすなど、沖縄一強時代を築き上げました。

今後、県ではこのような取り組みを予定しています

- ① 出場国の選手に、豊見城市、糸満市の小中学校の体育館で練習をしていただき、手話講話や練習見学などの交流会を実施します。
- ② ①の交流を実施した小中学校の児童・生徒が、交流した国の試合を会場で応援する取り組みを実施します。また、沖縄県バレーボール協会と協力して、県内の子どもたちに試合観戦ができることを周知します。
- ③ 大会出場国の選手が来沖された際に空港歓迎式を行い、選手の皆さまをお出迎えする予定です。

デフリンピックについて

聴覚障害者「Deaf(デフ)」とオリンピック「Olympic」を合わせた言葉です。障害者スポーツの大会でパラリンピックがありますが、パラリンピックは身体障害者を対象としたスポーツ大会で、聴覚障害者の競技種目がありません。そのため、聴覚障害者の競技大会であるデフリンピックが開催されています。日本代表チームは、1977年に男子、1981年に女子が初出場して以来、1981年から2022年まで10大会出場を果たしています。これまで、デフリンピックでのデフバレーボール男子の最高成績は2位、女子は2度金メダルを獲得しており、世界の強豪として知られています。来年2025年に開催される東京大会で男女アベック金メダル獲得を目指し、日々練習に励んでいます。



男子日本代表(デフリンピック2021ブラジル大会)



女子日本代表(デフリンピック2017トルコ大会)

試合観戦、会場へのアクセスについて

- 試合会場 豊見城市民体育館
- 試合観戦は無料です。
- 駐車場は、豊見城市民体育館に隣接する多目的広場(雨天時は使用不可)、豊崎海浜公園の駐車場をご利用いただけます。
- ※駐車場には限りがありますので、乗り合いや公共交通機関のご利用にご協力をお願いします。



デフバレーボール世界選手権2024 沖縄豊見城大会 マスコットキャラクター

問い合わせ スポーツ振興課 電話：098-866-2708 FAX：098-866-2729



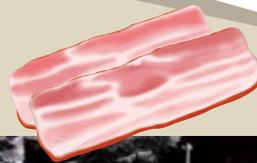
第2回 食品編

料理に使う基本の調味料に、砂糖、塩、醤油や味噌などがありますが、沖縄でその製造が始まったのは琉球王国時代のこと。各地でサトウキビ畑や、塩を作る塩田の風景が見られたと言います。また、味噌や醤油も製造され、主に王家の食事に使われていました。中でも盛んだったのは製糖業。糖業近代化の流れの中で、大型の分蜜糖工場が設立され、沖縄の基幹産業の一つへと成長したのです。

戦後、沖縄がアメリカの統治下に置かれるようになると、食品産業にも大きな変化がありました。手軽に食べられる食パンや菓子パンのほか、料理に使いやすいハムやベーコン、ポークランチョンミートなどの加工肉を製造する企業が次々に創業。こうした食品は便利さから瞬く間に食卓に取り入れられました。さらに、沖縄らしいアレンジが

加わり、例えば、ポーク玉子のように、沖縄を代表する料理の誕生のきっかけにもなりました。手間がかかるとされていた琉球料理のレトルト食品の登場など、食品産業は時代のニーズを如実に反映しているのです。

時代の豊かさに合わせて
発展する食品産業



産業の歴史をひもとく年代記 沖縄産業 クロニクル

県民の暮らしに密接に関わる
さまざまな産業はどう始まった？
その変遷と展望を紹介します。

監修・山内昌斗(専修大学経営学部教授)



沖縄の基幹産業の一つである製糖業は戦前から盛んに行われ、戦後は生産量をより増やすために機械化が進められた。戦前の旧式製糖場(那覇市歴史博物館提供)

当時は
馬や牛の力で
サトウキビを
搾っていた!

那覇市に
こんな塩田が!



オキコ(株)はもとは瓦製造業だったが製パン業へと業種転向し県民に知られる存在に。オキコ製菓工場(オキコ(株)提供)



戦前から戦後にかけて、沖縄各地では塩田が見られた。戦前の那覇市前島の塩田(那覇市歴史博物館提供)

手作業から
機械化へ



ジミー店舗では作り立てのパンやアップルパイをそのまま店頭で並べる販売形式が話題に。1976年頃の店舗(株)ジミー提供



赤マルソウ工場での醤油出荷作業(株)赤マルソウ提供



1966年、中城村の近代的な畜産処理施設告別式(沖縄県公文書館所蔵)



歯を見せて 笑える今を 未来にも

6月4日~10日は「歯と口の健康週間」です

イベント情報など
詳しくはこちら



沖縄食品年表

江戸

1623年

儀間真常が中国に使いを送り、黒糖の製造方法を学ばせ、琉球で製造を開始

17世紀末

薩摩から入浜式塩田の技術が伝えられ各地へ広がる

1855〜1860年頃

玉那覇味噌醤油創業

明治

1888年

サトウキビの作付制限令撤廃。各地で本格的に栽培開始

昭和

1947年

沖縄興業(株)(後にオキコ(株)に社名変更)創業

1950年

具志堅味噌醤油(名)(後に(株)赤マルソウに社名変更)創業

1954年

島産品愛用運動開始

1956年

ジミーグローセリー(後に(株)ジミーに社名変更)開業

1959年

第一企業(後に(株)沖縄ホームに社名変更)創業

1972年

塩業整備臨時措置法が沖縄で適用

1982年

沖縄ハム総合食品(株)が初の琉球料理のレトルトパックを製造販売

平成

1997年

塩専売制度廃止。海水から直接塩の製造が可能になる

2014年

日本産農林水産物・食品の輸出促進と沖縄の国際物流拠点化促進を目的とした「沖縄大交易会」第1回開催

令和

2021年

食品等事業者に対し HACCP(ハサップ)導入完全義務化

注目トピックス

島産品を大々的にPR

画期的な発想



(1982年8月17日 沖縄タイムス社提供)

3 伝統の味を手軽に楽しむ商品を

日本遺産にも登録されている琉球料理は、手間も時間もかかる料理というイメージが強いが、もっと手軽に味わえるようにと、沖縄ハム総合食品(株)は1982年に琉球料理のレトルトパックを製造・販売。その大胆な発想は大きな話題となった。

味を守る! 製塩技術



(画像提供(株)青い海)

2 沖縄の昔ながらの塩を復活させる運動勃発

1972年に沖縄で適用された「塩業整備臨時措置法」で新たな製塩方法が採用されると、「塩の味が変わった!」と大騒ぎに。そこで(株)青い海は昔ながらの味の復活のため「沖縄の青い海とマースを守る会」を結成。製塩方法を工夫し、昔の味を取り戻した。



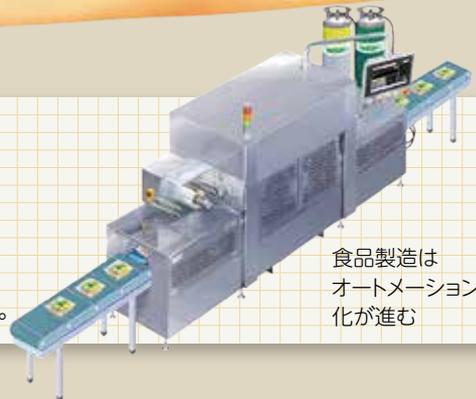
(沖縄県工業連合会七十年史より)

1 島産品愛用運動が食品産業を後押し

1950年代になると、沖縄では貿易が自由化され、本土製品の輸入がスタート。それに伴い琉球政府は産業振興計画を策定し、生産者の意欲向上と島産品の消費拡大のために「島産品愛用運動」の取り組みをスタート。食品産業の発展にもつながった。

これからの食品産業は健康意識&AI導入

「飽食の時代」と言われて久しい現代において、ここ数年の食のブームは「便利さの追求」「健康志向」へとシフト。それにより食品産業も電子レンジで加熱するだけで食べられるレトルト食品や冷凍食品の商品化に力を入れるようになった。また、人手不足の解消と効率的な生産のためにAIを導入する企業も増加している。



食品製造はオートメーション化が進む





6月は食育月間、毎月19日は食育の日

毎年6月は「食育月間」、毎月19日は「食育の日」です。
普段食べているものやどのような食べ方をしているかを振り返り、心と身体の健康の源となる「食」を考えてみましょう。

沖縄県民は塩分のとりすぎ?

塩分は、人間の生命を維持するために欠かすことのできない重要なものです。しかし、塩分のとりすぎは、胃がんや、高血圧による循環器病など、さまざまな病気の発症リスクを高めます。

20歳以上の沖縄県民1人1日当たりの食塩摂取量は、男性が14.7g(目標値7.5g)、女性が11.5g(目標値6.5g)と、目標値を大幅に上回っている結果が出ています*。

食塩摂取量は個人差が大きいと言われており、高血圧の方は特に気をつける必要があります。また、塩分のとりすぎは肥満につながるという報告もあり、血圧に問題のない方も減塩に取り組む必要があります。

*BDHQを用いた食習慣の調査による。

減塩のためになにからはじめよう?

減塩のためには、普段の食事に意識を向けることが大切です。スーパーなどで売られている加工食品には「食塩相当量」の表示がありますので、一度確認してみましょう。

今日からできる減塩の工夫

- 減塩タイプの食品や調味料を選ぶ(加工肉は塩分が多いので要注意)
- 香辛料や酸味を活用して、塩分を控える
- 卓上調味料は「かける」ではなく「つける」(むやみに調味料を使わない)
- よく噛んでゆっくり食べる(食べすぎを控える)
- 麺類のスープは飲みほさない

毎日の食事を楽しみながら、みんなで一緒に減塩にチャレンジしてみませんか?

健康おきなわ21 YouTubeチャンネル

沖縄県民の塩分摂取状況について

詳しくは、Youtube動画

「塩分大丈夫?
沖縄料理はあじく一たー?」
をご覧ください。



食生活
学習教材

くわっち~さびら

健康的な食生活や沖縄の食文化、現在の食環境など、こどもから大人まで楽しく学べる教材です。

くわっち~さびら
WEBページ



問い合わせ

健康長寿課 電話：098-866-2209 FAX：098-866-2289

広告



歯を見せて 笑える今を 未来にも

6月4日~10日は「歯と口の健康週間」です

イベント情報など
詳しくはこちら

